

スチバーガの治療をお受けになる方へ

※ 病院、薬局にかかる際にはこの説明書を提示して下さい。

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	3週間	1週間
スチバーガ (レゴラフェニブ) 1日 ____ mg	 1日 1回 朝食後 __ 錠	お休み

* 合計4週間を1回の治療とする

◎ 飲み忘れた時には…

飲み忘れた場合には、忘れた分を服用せず、次の分から服用して下さい。

絶対に2回分を一度に飲まないで下さい。

このお薬の副作用が強く現れるおそれがあります。

他の病院等でもらった薬がある場合は医師または薬剤師にご相談下さい。

★起こりやすい副作用 これらの副作用がすべて起こるわけではありません。

〈ご自身でわかる副作用〉

手足症候群

最初は手足の痛み（ヒリヒリ・チクチクする等）から始まります。その後、赤くなる、水ぶくれが出来る、皮膚がひび割れる、皮膚や爪が変色する、などの症状が出る場合があります。痛みを感じ始めたら必ずご連絡下さい。1 ヶ月の間に発現することもあり、重篤化を防ぐために日常のケアが大切です。

⇒日常のケアや薬の使い方については別紙をご参照下さい。

発疹・掻痒

1～2週間以内に発疹が出る場合があります。かゆみを伴うこともあります。症状としては軽く、一時的な場合がほとんどです。

⇒全身性の発疹かつ口内炎を伴う場合はご連絡下さい。

高血圧

1 週目から血圧が高くなる場合があります。頭痛・吐き気などの症状がある場合は、血圧を確認してみましょう。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

下痢

排便回数の増加や水様便が出る場合があります。症状に合わせて、下痢止めのお薬を使うことがあります。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は水分をしっかりととりましょう。

食欲不振・吐き気・嘔吐

比較的軽いと言われていています。症状に合わせて、吐き気止めのお薬を使うことがあります。

⇒無理をせず、消化のよい物や食べられそうな物を食べるようにして下さい。

全身倦怠感

体がだるい、重い、疲れやすいなどの症状が出る場合があります。

嗄声（声がかすれる）

口内炎 脱毛

〈血液検査からわかる副作用〉

肝機能障害

肝臓の働きが低下することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、肝臓の働きを確認します。

⇒お酒やサプリメント、健康食品でも肝臓の働きが低下することがあります。服用中の方は、申し出て下さい。

甲状腺機能低下

甲状腺の働きが低下することがあります。甲状腺の働きが低下すると、元気が出ない、疲れやすい、声がかすれる、肌が乾燥するといった症状が現れることがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、甲状腺の働きを確認します。

血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などがおこりやすくなります。

★注意が必要な副作用について

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

- ★ 鼻血や歯肉などの粘膜から出血、口から血を吐く、血便が出るなど（出血）
- ★ 胸の痛み、みぞおちや頸部が締め付けられたり、圧迫されたりする感じ、呼吸困難、冷汗（心筋虚血、心筋梗塞）
- ★ 歩行時のふらつき、口のもつれ、物忘れ、動作緩慢などの症状（可逆性後白質脳症）
- ★ 急激な上腹部および腰背部の痛み、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振（消化管穿孔）
- ★ 空咳、息切れ、呼吸困難、発熱、声の変化（急性肺障害、間質性肺炎、呼吸器障害）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡下さい。